

発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
TEL 0267-23-8880
FAX 0267-25-2224

『多肉植物の世界』開催しました!!

7月6日(火)、錦玉園でこもろ女性の家講座を開催。オーナーの児玉賢一さんから多肉植物の育て方についてお話を伺い、早速寄せ植え体験。色や形の違う多肉植物をひとつの鉢に。それぞれ素敵な寄せ植えが出来上がりました。

こもろ女性の家講座



◆内容

- p.16 公民館講座報告 (こもろシニア教室/女性学級)
- p.17 『ぼくとわたしの作品』 (野岸小学校) ほか
- p.18 『えんぴつリレー』 (六供区 渡辺頼雄) ほか

- p.19 『人ひと』 (与良区 小船睦巳)
- p.20 『みんなの宝物』 (小諸義塾記念館/藤村記念館)
- p.21 『わたしの宝物』 (諸区民)
8月小諸市文化会館スケジュール

平和だなあ。「生きてるだけで丸もうけ」という言葉が浮かんでくる。コロナ戦時下だがこんな小さな幸せが続くようにと願う。そして、早くコロナ戦争が終息し、会いたい時に会いたい人に会える日が来ればいいなと思う。

編集委員 依田 和子

8月は慰霊の月だ。広島・長崎の原爆の日。お盆。終戦記念日。そして小諸にゆかりのある文豪島崎藤村が亡くなったのも8月。

その藤村の名を冠した「小諸・藤村文学賞」入賞作品から「模擬原爆」を知った。

原爆の投下訓練として、米軍が1945年7月20日から8月14日の間、国内18都府県に計49発の「模擬原爆」を投下した。死者は400人を超え、1200人以上が負傷したという。

まだまだ知られていない戦争の事実があることを知らされた。それから76年後の今。

朝、畑にトマト茄子などを採りに行く。ひんやりした空気が気持ちいい。

近くの家から子どもの声。朝食の準備だろうか、食器の触れ合う音が聞こえる。郭公の鳴き声が鳩時計のように聞こえてくる。



報告 公民館講座

—こもろシニア教室・女性学級—



女性学級

今年度の女性学級は、60名の受講生を迎え、健康・生活・歴史、更に前年度の講座終了時に、受講生から寄せられたアンケートを基に企画された新しい講座も含め、多方面に亘る18講座を予定しています。

5月27日(木)、新緑に包まれた開講式当日は、あいにくの雨天でしたが、仲間と共に開講日を無事に迎えられた喜びに輝く笑顔が揃いました。

開講式に続いてコミュニティテレビこもろチーフキャスター後藤理恵さんの司会進行で、第1回講座『心を包む文化』を今に伝える」と題して、風呂敷専門店ふろしきや「やまとなでしこ」代表で風呂敷アドバイザーとして活躍されている菊田圭子さんより、様々な風呂敷とその使い方の方の数々を教えていただきました。

昨年、第1回講座の講師にお迎えした入安ムニレさんが日本文化の素晴らしさを伝えてくださるお話の中で、風呂敷の美と機能性を熱く語られたことを懐かしく思い出しています。初回講師に2年連続

で風呂敷文化のお話を伺ったことに深いご縁を感じました。「包」の字は母が子を抱く形を表しているそうです。大切な物を愛しむ様に優しく包む「美しい心」の在り方を忘れない様に、日々の暮らしの中で風呂敷を愛用したいと思いました。

まだまだ続きそうな窮屈な日常ですが、マスクの中の口角を上げて、笑顔で学び、心と身体を整えて更に前進!! 会長職はコロナ留年…。今年度もよろしくお願い致します。

女性学級会長 柏木 啓子

こもろシニア教室

昨年は、新型コロナウイルス感染症のため特別講座3回のみで開催となってしまいました。今年度は6月18日(金)に無事開講式を行うことができました。コロナ対策として広い体育館での開催となりました。公民館長は松本館長から内堀館長に代わり、また運営委員も新しい方が加わりました。松本館長はじめ、ご苦労いただいた運営委員の皆さん本当にお疲れ様でした。紙上をお借りし、改めてお礼申し上げます。

さて、今年度は14回の教室となります。一般公開講座(8月28日(土))以外すべて午前中としました。残念ながら春の野外研修と秋の研修旅行は中止としました。講座の詳細は広報こもろ4月号(公民館報P17)に掲載されています。

どの講座からでも受講できますので、お気軽にお出掛けください。

シニア教室は「健康で明るく、そして楽しい仲間づくり」をモットーに講座を決めています。講師の先生も熱心に指導してください。

ある講演会で「高齢者がしておくべきことのひとつとして、身の回りを整理すること、つまり、いらぬものはすべて捨てることです」というお話がありました。しかし、知識は頭の中にどんなに詰め込んでも捨てる必要はありません。一年間の長丁場となります。体調の悪い時、急用の時などは



第1回講座「地域おこし協力隊員として」

無理をしないでください。コロナ禍の早期の終息と一年間無事に予定通り実施できることを運営委員一同願っています。

運営委員長 牧野 和人



第1回講座『心を包む文化』を今に伝える

「牛に引かれて」

六年一組

今泉 煌大



ぼくたちのクラスでは、四年生のとき、「身代わり地蔵」という民話の劇をしました。なぜかという、民話を

「お気に入りの紙芝居」

六年一組

清水 優里



私たちがつくった「大蛇になった甲賀の三郎」は、とても長くて、少し難しいお話です。私は、長いお話がとても好きで、最初を読めば、最後まで読みたくなります。「大

知っている人が少なくなってきた、民話が忘れられつつあるからです。

五年生のときには、紙芝居をつくることにしました。なぜかという、民話を未来に残すためです。ぼくは、どのお話を選ぶか、なやんでいました。でも、「牛に引かれて」というお話が出てきたときに、「これだ！」と思いました。なぜかという、以前布引の山を登ったことがあります。



野岸小学校

蛇になった甲賀の三郎」は、難しい言葉がたくさんあって読むのはとても大変でした。けれど、学区を流れている蛇堀川が出てきたり、想像して読むことができたりして、とてもおもしろいです。

紙芝居の絵をかくのは、とても大変でした。それは、絵の見本がなく、長い話なので絵をたくさんかかなければならなかったからです。でも私は、このお話を選んで、とて

このお話から何で「布引」という地名なのかが分かってうれしかったし、少し不思議なことが書いてあるお話なので読んで楽しかったからです。そんな「牛に引かれて」の紙芝居が完成し、発表する時が来ました。コミュニケーションレビのみなさんが、カメラでとりに来てくれました。重いマイクをもって、はつきりと発表することができました。自分の場所を読み終わったらきは、すごく大きな達成感が降ってきたような感覚になりました。

もよかったと思います。他のグループより長かったけど、グループとしても、自分としても、いい紙芝居ができたと思っています。

今は、「こんなところに民話あったんだ」と思えるようなところを見つけて、もっとたくさんのお話を読んで、多くの人に伝わるような活動をしたいと思っています。有名な場所だと、「その話聞きたい」と思うはず。だから、これからいろいろ調べたりしてたくさんの人に民話を知ってもらえるようにしたいです。



小諸市民大学・こもろシニア教室・女性学級 共催講座

【一般公開講座】

『コロナ禍における感染対策』

講師 信州大学附属病院 感染制御室副室長

金井信一郎

●日時 8/28(土)
●開場 13:30 開演 14:00
●場所 小諸市文化会館ホール
●受講料 無料
●問合せ 小諸市文化センター
0267-23-8880



『私の奥さん』

六供区 渡辺 頼雄

私の奥さんは、孫たちが選んでくれた色とりどりの寄せ植えと緑の風とコーヒーマシンのペランダが好きです。数年前から異変が現れ、入院を重ねています。「なぜ、どうして

どうすれば。全力疾走だった、疲れたのかな、ゆっくりでいいよ…」要介護5の今、神様から2人だけの時間をたくさんいただいています。

借家、破れ障子、子育て真っ最中、部屋はオムツと洗濯物の乾燥室。そんな中で、私は創業の夢を育てていました。でも、奥さんと子ども達の寝顔をみていると、なかなかそれを言い出せませんでした。

思い切っってある日恐る恐る心を含めて申込みました。生活の目処を探るいくつもの問題を確かめ確かめて、数日後奥さんの答えは「いいわよ。やりましょう！」万歳。

家を建てる夢のために積立

てたお金は、会社の資本金になりました。奥さんは、子育てをしながら、銀行通い、給料計算、時にはお客さんへの配達、集金、工場で製品検査、会議とできることは何でもやってくれました。

時が流れ中国へ進出。息子が総経理を務める工場の立ち上げは、私に代わって奥さんが行きました。現地スタッフへの清掃指導、製品の検査梱包、時には市政府とのお付き合い、白酒で乾杯、人気があった。やがて香港にも会社ができることができました。

ベトナムへ進出。奥さんは私と一緒に工場現場が大好きでした。4年前、第2工場の地鎮祭に車椅子で参加。鉄入れも行いました。ベトナムにはお客様と合弁で医療の会社もできました。

今は4人の子どもと国内外2千5百人の優秀な社員が引継いでくれています。創業から48年。嬉しかった、楽しかった、大変だった、充実して



ベトナム第2工場地鎮祭

いた…。私の奥さんは多才です。日本画は県展や東京の美術展へ出展、商工ジャーナルの表紙絵にもなりました。茶道の先生とヨーロッパまで行き、日本文化を紹介しました。書道もゴルフもやります。私の奥さんの宝はお友達です。手作りのケーキ、梅漬け、路の煮物等を頂き舌つづみで打ったり、ピアノに合わせて童謡唱歌を唄ったり、思い出話に花を咲かせたり…。友達と過ごす一時をありがたく思います。日本の福祉は素晴らしいです。市、病院、老人保健施設、訪問介護、リハビリに私達は見守っていただき心強い限りです。奥さんと私はこれからも二人三脚で進みます。

— 8・9月公民館講座のご案内 — ※こもろ女性の家の講座も性別を問わず受講可能

申込みは平日 9:00~17:00。申込み多数の場合は、初めての方を優先とし公民館にて責任抽選いたします。また、申込み少数の場合や新型コロナウイルス感染拡大防止のため講座が中止や変更になることがあります。

小諸市文化センター TEL 0267-23-8880



公民館講座

小諸市星空観望会

～ 惑星(土星・木星)の観測とペルセウス座流星群をみよう～

【講師】天文同好会 流天

- ◇日 時 8/9(月) 19:30~21:00
- ◇場 所 小諸高原美術館・白鳥映雪館
※曇天・少雨の場合は館内・雨天中止
- ◇定 員 15組
- ◇参加費 無料
- ◆申込 7/26(月)~30(金)

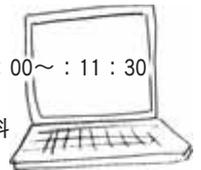


エクセル講座

～ エクセルで表計算の基礎から数式、関数など便利な使い方まで～
今回からはインターネットに接続していればどこでも使えるMicrosoft Office OnlineのExcelを使用します。

【講師】こもろ情報ひろば

- ◇日 時 9/10(金)、14(火)、17(金) 10:00~11:30
- ◇場 所 図書学習室
- ◇定 員 10名 ◇参加費 無料
- ◆申込 8/13(金)~27(金)



こもろ女性の家

お料理教室

料理「自家製酵母を使ったパン作り」

【講師】Spica 麦の穂 降矢 泰次

日時	内容	材料費
9/13(月) 9:30~12:00	自家製酵母作り	2,500円
10/4(月) 9:30~13:00	作成した酵母種を使ってパン作り(1kg)	2,000円

- ◇場 所 料理教室 ◇定 員 10名
- ◆申込 8/20(金)~27(金)

話し方教室

人前で話すことに自信のないあなたに役立つヒントがいっぱい!

【講師】コミュニティテレビこもろチーフキャスター 後藤 理恵

期日	9/1(水)	9/15(水)	9/29(水)
内容	良い発声法	心地よい声	話し方のコツ

- ◇時 間 10:00~11:00
- ◇場 所 第一講義室
- ◇定 員 12名 ◇参加費 無料
- ◆申込 8/5(木)~13(金)



「移住者に聞く
「小諸市へ移住しよう」



今回紹介するのは、小諸市に移住された与良区の小船睦巳さん。お話を伺いにお邪魔しました。

🔪 **小諸市へ来る前の**

お住まいと仕事や活動は？
住まいは大阪です。生まれ

も大阪です。大阪の本町というビジネス街でワインを扱った飲食店でのサービス、主に癒しとワインを求めて来てく

ださるお客様と素敵な時間を共有していました。週1回ギターの生演奏とワインを楽しむようなイベントをしたり、ワインのリストを作成せずに、その時のワインを楽しめるような運営をしていました。

🔪 **小諸市へ移住された**

きっかけは？

2020年6月に移住しました。きっかけは、サービスマンとしてワインを提供している中で、ワイン作りの根拠を知らない自分に対して疑問を持ちました。そして、どこかのタイミングで生産者となり、根拠を理解したうえでワインを伝えていきたいと思うようになりました。

当初は他県のワイナリーへも面接を兼ねて行ったのですが、あまり魅力を感じることがなく、次を探そうとしたタイミングで、まだワイナリーも無く畑作りからスタートしようとしている現在の職場と出会いました。ワインは葡萄が無ければ生まれなし、畑作りから携われるなんてラッキーでした。考える余地も無く即決で移住を決断しました。

🔪 **現在の活動状況は？**

小諸市をベースに数か所で開催作業と畑作業を行っています。

🔪 **小諸市でしよう**

良かったこと

夏場は涼しい。大阪にいた時よりも四季の移り変わりを感ずることが出来る。野菜が美味しくて、尚且つ安い！

● **こうだといいなと思うこと**

コロナ禍の影響もあるが、ワインを飲めるお店が増えたり良いと思う。移住者に対してのメリットを増やしてもよい気がする。例えば空き家バンクなどを利用した補助などはあるが、該当する人はあまり多くない気がする。

🔪 **これからの**

目標・抱負・予定は？

これからワインを作っていくので、「こんな素敵な場所が美味しいワインを作っているのか！」と思ってもらえるように日々ワクワクしながらチャレンジしていきます。

小船さんありがとうございます。

編集委員 高城 俊秀

— 小諸市文化協会より — **第34回 小諸市短詩型文学祭 作品募集**

34回目を迎える小諸市短詩型文学祭について、本年も下記要領で作品募集を行います。

■文学祭日時 令和3年12月11日(土) 13:00~16:00 ■会場 小諸市文化センター

■内容 入選作品の表彰式及び分科会

— 投稿規定 —

- ①投稿作品：短歌部門 2首 / 俳句部門 3句 / 川柳部門 3句
- ②投稿資格：小諸市及び東信地区に在住する方・事業所に勤務する方・活動する各部門団体・通学する小中高生
- ③応募用紙：所定の応募用紙（コピーでも可）を使用し、住所・氏名・電話番号を記入する。（雅号の場合も本名を書く）楷書で書き、必要箇所にはふりがなをつける。（用紙は文化センター・文協所属結社にあります）
- ④投稿料：1部門1組につき1,000円（各部門とも1人1組まで）※小中高生及び介護施設からの投稿は無料
- ★投稿者には作品集を配布します。

— 投稿方法 —

- ①投稿締切日：令和3年9月17日(金) 消印有効
 - ②投稿料納入：作品に投稿料を添えて事務局に提出または郵便小為替を添えて郵送
- ※なお、新型コロナウイルス感染状況により、変更になる場合があります。

■投稿先及び問い合わせ先 **小諸市文化協会事務局（小諸市文化センター内）**
〒384-0801 長野県小諸市甲1275番地2 TEL 0267-23-8880

みんなの宝物



小諸義塾記念館

小諸義塾は明治26年11月、小諸の青年小山太郎らの熱い要請に応じて、木村熊二によって誕生した私塾です。明治32年、私立中学校令により県知事の認可を得て、教育内容の改編とともに教師陣の充実も図られました。この年、藤村も恩師木村熊二の招きにより、国語と英語の教師として赴任してきました。熊二は、懐古園に砂防のためアカシアを植えたり、三岡の洋桃や苺の栽培、缶詰製造事業などを指導したりしました。また、中棚鉱泉の発掘をするなど、明治から大正にかけて地域の産業発展に多大の貢献をしました。記念館には、小諸義塾の歩んだ歴史や塾生たちの学習の様子、木村熊二の遺品・遺墨などが展示してあります。



木村熊二



明治29年小諸駅南に建てられた小諸義塾本館（平成6年田村家より寄贈され、平成8年現在の位置に移転復元された）



島崎藤村



上は小諸義塾で使用していた教科書
右は図画教師三宅克己が考案した小諸義塾の徽章



塾生であった小山周次が描いた小諸義塾。
（左側にあるのが本館。右側は建て増した校舎。現在の小諸駅構内にあった。）

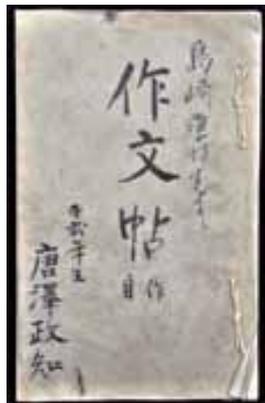
藤村記念館

藤村は小諸義塾で英語と国語を教えました。国語では『枕草子』『徒然草』『土佐日記』『奥の細道』などの講読や作文の指導もしました。

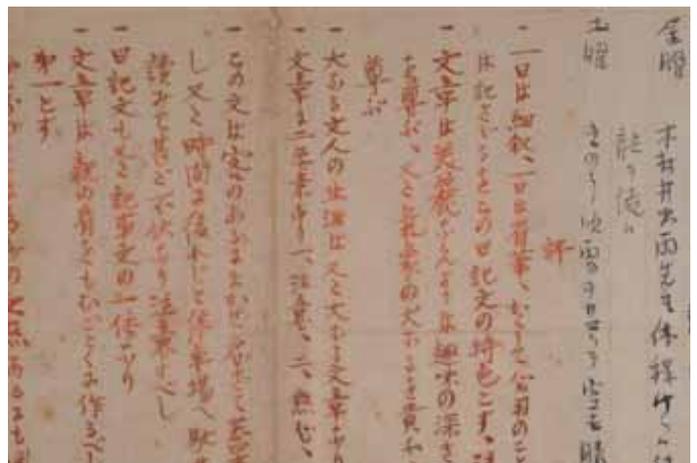
藤村に教わった唐澤政知の自作の作文帳（明治34年4月「二週日記」）が残されています。この作文帳に藤村は朱筆で懇切な評文を書いていきます。これは唐澤に対してだけでなく、塾生すべての作文帳に藤村は評文を細叙していたと、後に唐澤と同級生だった小林直衛は証言しています。この丁寧な評文は現在にも充分通用するものであり、この評文から教師藤村の熱意が伝わってきます。このような藤村ら個性豊かな義塾の教師たちから学んだ塾生たちは、それぞれの個性と自主性を培い、明治末期から大正期にかけて、地域の行政や産業、文化の担い手となっていったのでした。

（藤村評文の抜粋：右下の写真）

- 一、一日は細叙一日は省筆、かくして必用
- 一、文章は美麗ならんよりは趣味の深さを尊ぶ、思想の精しきを尊ぶ、又た気象の大なるを貴ぶ、又た品の高尚なるを尊ぶ
- 一、大なる文人の生涯は又た大なる文章なり



唐澤政知の作文帳の表紙
（右の朱筆は藤村の評文）



- 一、文章に二要素あり一、注意、二、熱心の馳走をなしたるごとし、又た時間に後れじと停車場へ馳せ行く旅客のごとし。読みて甚だ不快なり注意すべし
- 一、日記文も又た記事文の一体なり

（後略）

わたしの宝物

区民の宝物

No.3



『弁天の清水』

諸区には美味しい水が湧き出る弁天の清水があります。区民の方にお話しをお聞きしました。

近所に住む饗場さん

私がお嫁に来た頃、家の洗濯機で洗った物を弁天の清水へ行行ってすすぎをしていました。私は、今時川で洗濯？びっくりしたのと、恥ずかしくてなかなか清水の川に行くことが出来ませんでした。でも、いつも3、4人の人が楽しそうに話しながら洗濯をしていました。みんな私と同じお嫁に来た近所の人達で、今では私もその仲間。井戸端会議ならぬ清水での洗濯会議を楽しんでいます。

最近では県内外からも、清水を汲みに来る方も多く「とても美味しい水ですね」と褒めてくれます。夏にはスイカ、ビール等を冷やし、秋には野沢菜を洗ったり、私達は清水の恵みをたくさん受けていると思います。湧き出る水を見ると心が洗われる思いです。

これからも大事に使っていききたいですね。

中山正男諸区長

まさにこの弁天の清水は諸区の宝物です。ここは小さな社殿があり、ここを中心に集落ができています。よって道路も狭く民家も密集しています。



【弁天の清水】

歴史は古く、文献によると古代縄文時代・諸村建始の頃からの湧水で、水神を祀る「弁財天社」が鎮座しています。池手前の敷地は釈迦堂、小諸明倫学校友校、大里村役場、諸公会所、公民館を経て現在駐車場になっています。社内地下より毎分2トンの豊富な清澄なる水が湧き出ています。上水道の余水は、区内三方に分け、雑用、防火用水などに利用しています。



この美味しい水を求めて市内はもとより市外、県外からも大勢の方が来られますが、車両事故や深夜の騒音問題などが発生しています。ご利用の際には、ご注意、気遣いいただければ幸いです。

編集委員

高城 俊秀

8月 小諸市文化会館スケジュール

日・曜	開演	イベント名	主催者	問い合わせ先
8⑩	13:30	保健推進員会研修会	小諸市健康づくり課	0267-22-1700
19㊦	13:30	介護予防ささえ愛サポーター研修会	小諸市高齢福祉課	0267-22-1700
22⑩	10:30	藤村忌 歌と花を捧げるつどい	小諸市立藤村記念館	0267-22-1130
27㊦	18:00	音楽のまち・こもろミニコンサート	小諸市文化財・生涯学習課	0267-22-1700
28㊦	14:00	一般公開講座 「コロナ禍における感染対策」	小諸市民大学 こもろシニア教室 女性学級	0267-23-8880

作品展示のお知らせ

入場無料

小諸市文化会館 ホワイエにて
『蒸気の風が吹く』

親子で撮影した、蒸気機関車が走る風景をお楽しみください。

【展示期間】 7/10(土)～8/21(土)

主催：日光鐵道写真倶楽部

受付開始日
【公民館・こもろ女性の家】 令和3年10月利用 予約8月2日(月)
(貸出備品含む)
【乙女湖体育館】 令和4年2月利用 予約8月2日(月)
【文化会館】 令和4年8月利用 予約8月3日(火)